

西播磨地域の交流に、にぎわう芝生広場 春満喫の西播磨フロンティア祭

4月24日(土)、播磨科学公園都市の芝生広場を中心に『西播磨フロンティア祭2004 スプリングフェア』が開催され、春の光都で繰り広げられた恒例の地域イベントは、近隣からの大勢の来客でにぎわいました。

芝生広場一面には、特産品などの販売コーナーや交流コーナーなどのテントが連なり、また、チューリップ園の開放や、ふれあいウォーク、大型放射光施設SPRING-8の一般開放、ノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊教授の講演会などが盛りだくさんに行われました。

また、地域を元気にしようと取り組んでいる団体が日ごろの成果をアピールする「出る杭大会」では、町内から出場の「ふれあいいきいきサロン“高田台遊友”」が、念願の「第3回出る杭大賞」を受賞しました。代表の春尾昭子さんは大賞受賞の喜びを「2年続けて『人の輪賞』はいただいていたが、遊友の活動は形に表れない人と人との心の活動ですから、まず大賞はないだろうと思っていました。それだけに、驚きとうれしさでいっぱいです。」と話されていました。



ふれあいウォークには約300名が参加



テント前で銭太鼓を披露する「高田台遊友」



▲中央公民館に到着した
絵本のキャラバンカー



「音草紙コンサート」の
ステージ上で演じられた狂言の舞▶

親子で絵本の世界を楽しんだ中央公民館の一日 「音草紙コンサート」と絵本をのせた全国訪問のキャラバンカー

4月11日(日)、中央公民館大ホールで「音草紙コンサート 中谷宇吉郎へのオマージュ」が開催されました。スクリーンに藤城清治氏の影絵が映し出された幻想的な雰囲気の中、アルバート・ロト氏が奏でるピアノの音色をバックに中谷宇吉郎作の物語を狂言師・安東伸元氏が語りました。2人の競演から生まれる、絵本の世界に引き込まれたような独特の演出に観客は魅了されていました。

また、同日、絵本を積んだキャラバンカーで全国を巡回し、子どもたちに読み聞かせを行っている講談社創立90周年事業「本と遊ぼう 全国訪問おはなし隊」が、中央公民館を訪れていました。

公民館駐車場に「三匹のこぶた」やおなじみの絵本のキャラクターが描かれたキャラバンカーが到着し、中ホールで紙芝居や絵本の読み聞かせが行われました。その後、駐車場に会場を移し、キャラバンカーの荷台が開放され、たくさんの絵本が並んだ本棚が現われると、参加した100名ほどの親子が屋外図書館での読書を楽しんでいました。



公用車として寄贈された軽自動車

役場に軽自動車を寄贈 10周年を迎えた国際ソロプチミスト西播磨

4月21日(水)、女性による奉仕活動を目的としたNGO(非政府組織)団体の「国際ソロプチミスト西播磨」(安良田純子会長)が、認証10周年を記念して赤穂市内のホテルで記念式典を開催し、活動地域内の赤穂市と相生市、上郡町にそれぞれ、公用車として軽自動車を寄贈されました。

『ひとつの出会い、ひろがる世界』をテーマに 愛心園で『第21回いいざか祭』を開催



関西福祉大学吹奏楽部の皆さん



上郡中生徒もボランティアで参加

4月18日(日)、山野里の愛心園で「第21回いいざか祭」が開催されました。会場となった愛心園のグラウンドには、地域の方々や、利用者とその保護者、職員、各種団体、ボランティアの方々がお祭りを盛り上げようと集まりました。また、町外施設からの参加をはじめ、上郡中学校、上郡高校の生徒、カブスカウトの子どもたちがボランティアで活動している姿も見られました。

大テント下のステージでは、「かみごおり円心太鼓」や「船坂銭太鼓」、「船坂民謡愛好会」が今年も演奏。初めての参加となる「関西福祉大学吹奏楽部」が、おなじみの歌謡曲を演奏したあと、園生の「夢いっぱいコーラス」が日ごろの練習の成果を披露しました。

昨年、一昨年と雨に見舞われ、2年ぶりの晴天のもと行われた「いいざか祭」は、温かい協力に支えられて、大いに盛り上がりました。



業務開始とともに笑顔でお客さんを迎える松井さん

日ごろのご愛顧に感謝を込めて、郵政記念日イベント 上郡郵便局の一日局長に松井宏司さん

4月21日(水)、上郡郵便局では4月20日の郵政記念日を記念するイベントとして、高田台で「松井スズ虫研究所」を経営されている松井宏司さんが一日郵便局長を務められました。

松井さんは、一日郵便局長の委嘱を太田茂樹局長より受けると、早速「一日郵便局長」のたすきをかけ、窓口に立たれました。松井さんは、郵便局の「ふるさと小包」で夏はスズ虫、春は雛人形の民芸品を全国に出荷されていることから、今回のために、手作りの竹とんぼとお手玉セットを用意し、「いらっしゃいませ。」の声とともにお客さんに手渡していました。

教育現場での不審者に対処するために ライオンズクラブが「刺股」を寄贈

4月19日(月)、山野里小学校の体育館に町内小学校と幼稚園の先生が集まり、安全管理のための研修会が行われました。

これは、全国で学校への不審者による事件が多発している中、上郡ライオンズクラブが、町内の各学校・園に「刺股」と呼ばれる防犯用具を計28本寄贈されることに伴い、その使い方、いざという時、教師としてどのような行動を取ればいいのかを、2名の県警職員から指導を受けるものでした。

参加した先生方は、不審者が凶器を持って侵入した場合を想定して、学校・園にあるモップやパイプいす、消火器などを使って一瞬に取り押さえる方法を、実践を交えて学んでいました。



刺股とパイプいすなどを使って不審者役の先生を御用

